

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	〔前年度(4年度)実績〕												
	産業廃棄物の種類		混合	コンクリートがら	木くず	アスコンがら	廃プラスチック類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	繊維くず除くがら	合計
	排出量		203.38 t	617.09 t	94.8 t	65.31 t	0.57 t	0 t	1.57 t	2.38 t	22.89 t	0.17 t	1008.20 t
	(これまでに実施した取組)												
	・ 産業廃棄物の適正処理を確保する為、関連する法令等を厳守するとともに行政の環境政策に協力する。												
	・ 工事着工時、産業廃棄物が発生する現場を確認し、各現場担当者と打合せ、産業廃棄物廃棄物の発生量の抑制に努め発生した産業廃棄物の再資源化や有効利用の可能性を検討する。												
	〔 目標 〕												
	産業廃棄物の種類		混合	コンクリートがら	木くず	アスコンがら	廃プラスチック類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	繊維くず除くがら	合計
	排出量		190.0 t	500.0 t	70.0 t	55.0 t	0.5 t	0.0 t	0.0 t	2.0 t	15.0 t	0.0 t	832.5 t
	(今後実施する予定の取組)												
②計画	・ 現場での分別の徹底を強化し、再利用できるものはする。												
	・ 今後コンクリート再生設備検討し排出量を減量目指す。												
	・ 産業廃棄物処理計画の作成と、管理表の交付、委託契約の締結・管理表の交付保管を正しく行う。												

